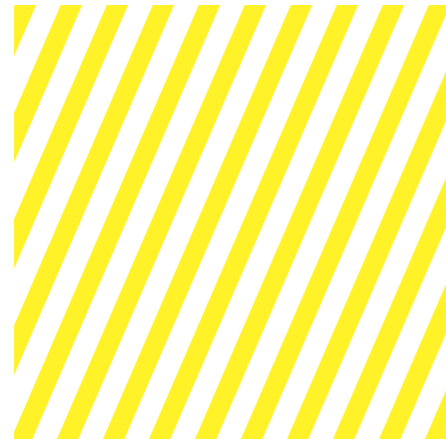


次なる 茨木へ。



茨木には、次がある。

茨木には、次がある。
大阪市・京都市に次ぐ街。
自然と都市が次いでいる街。
次世代を育む学生が多い街。

次々とひろがる、はてしない未来。

黄色い斜めのストライプ。
その角度は、地球の「地軸」と同じ23.4度。
地軸の傾きは日本に四季をもたらし、
次々と、この街を未来へいざなっている。

次なる茨木は、どうなるだろう。
次なる茨木は、何をするだろう。

次なる茨木へ。
茨木市の新しいメッセージです。

茨木市は、平成29年(2017年)2月に、多くの方々からの意見をいただきながら、ブランドメッセージ「次なる茨木へ。」とロゴを決定しました。

ブランドメッセージ(ロゴ)は、地域の魅力やまちのめざすところなど「その地域らしさ」をイメージし、多くの皆さんの共感を呼ぶための合言葉です。市内大学の授業や各種ワークショップなどを通じて得た、多くの方々の想いがこもった案の中から、市民投票により決定しました。

ブランドメッセージ(ロゴ)に込められた想い

- 「茨」の漢字の中にある「次」という文字を読み取り、過去・現在・未来をつないでいく「次々とひろがる、はてしない未来」をイメージ。
- 黄色い斜めのストライプは、地軸と同じ23.4度の傾き。地軸の傾きが日本に四季折々の豊かな彩りを生み出しているように、茨木市もこれから多彩で豊かなシーンを創造していくという想い。
- 明るい黄色は、茨木市旗の紫紺色と補色関係(互いの色を最も際立たせる色)。

茨木市はこんなまち

茨木市は、淀川の北、大阪府の北部に位置する北大阪地域の中枢となる都市です。昭和23年(1948年)の市制施行以来、交通環境の利便性や豊かな自然環境など恵まれた多くの魅力を生かし、着実に歩みを進めてきました。近年には、新名神高速道路の開通や、JR総持寺駅の開業が続くなど、誰もが豊かさ、幸せを実感できる「次なる茨木」へ、さらなる歩みを進めているところです。

四季折々の自然が美しい元茨木川緑地、川端康成を育んだ文化力、若者に人気の音楽イベント…ここにしか持ちえない資源があふれる茨木市。住み続けるほどに豊かな暮らしを実感できるまちの概要をお届けします。



人口と世帯数 令和3年(2021年)12月末現在
人口 283,504人
世帯数 129,376世帯

茨木市の一日 令和2年 (※令和2年度)	出生 6.2人	死亡 6.6人	転入 34.9人	転出 32.2人	婚姻 3.7組
離婚 1.1組	製造品出荷額 8億1,000万円	鉄道乗車人数 117,000人*	バス乗車人数 18,212人	高速道路IC利用台数 25,406台*	図書館貸出点数 8,393点*

CONTENTS

●暮らすなら茨木

- 04 抜群の交通アクセス 移動に便利
- 06 逢いにいきたい麗しき風景
- 08 ぬくもりのあるまちで安心子育て
- 09 ともに備え いのちを守る 安全・安心なまちづくり

●学ぶなら茨木

- 10 「一人も見捨てへん」先進的教育体制
- 12 地域に開かれた学びの場が充実

●創るなら茨木

- 14 産業施設が集積 未来に伸びゆくまち
- 16 召し上がれ 茨木の逸品

●楽しむなら茨木

- 18 茨木から世界へ 誇るべき歴史文化
- 20 響き合う活気と笑顔 彩時記

●まるごと茨木

- 22 茨木市全域マップ

●未来も茨木

- 24 「次なる茨木」へのまちづくり
- 26 広がる交流 姉妹・友好都市
- 28 茨木市のあゆみ

※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・変更している事業やイベントがあります。